

# 一番町ロビー 2019 10月のご案内

## 1F GALLERY

開館時間 / 10:00~18:00 (最終日は17:00まで)  
休館日 / 木曜日 ※入場 / 無料

### 10月4日(金)~10月9日(水) ココ・カラ展

東北工業大学 クリエイティブデザイン学科 盧慶美研究室

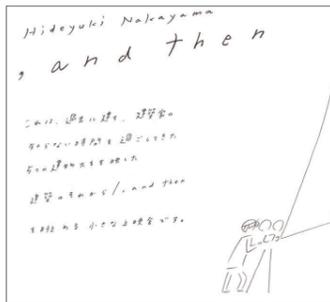
ここから更に表現の幅を広げ個々のカラーを見せるという意味を含め、「ココ・カラ」というテーマで行います。盧研究室の4年生とエキスパート(テキスタイルデザイン)の3年生が各々の手法で制作いたしました。ご来場の皆さまにお楽しみいただける、色彩豊かな作品展を目指しています。ぜひお立ち寄りご指導よろしくお願いいたします。



### 10月11日(金)~10月16日(水) 中山英之「, and then」仙台展

東北工業大学 建築学科

建築家・中山英之が、仙台に1週間だけの映画館をつくりまします。ここでは、東京にあるTOTOギャラリー・間(ま)にて開催された「, and then」のために制作された映像6本を上映。過去に建ち、建築家の知らない時間を過ごしてきた5つの建物たちを映した、建築の「それから / , and then」を眺める小さな上映会です。模型やパネル展示、書籍の販売も行います。



### 10月18日(金)~10月23日(水) 伊藤 行子展 ~Requiem~

伊藤 行子

「いのち」をテーマに制作を続けていきましたが、東日本大震災以降は「レイクエム」のテーマでアクリルや油彩を用いて描いてきました。その中からセレクトした作品を展示いたします。東京都美術館で毎年開催している公募団体展「美術文化展」や個展など東京を中心に発表してきましたが、この度は初めて仙台にて個展をいたします。ぜひ、ご高覧いただければ幸いです。



### 10月25日(金)~10月30日(水) 伊藤 美子 手織展

主催: 仙台藍染研究会(会長: 庄子 晃子 東北工業大学名誉教授)  
後援: 宮城県民芸協会

伊藤美子さんは、糸とその色彩選びから完成まですべて一人で手がけています。リズムとメロディーが織りなす個性あふれる美しい手織の世界をお楽しみください。



## 2F HALL

### 2F ホール利用のご案内

開館時間 / 10:00~19:00 休館日 / 日曜日・祝日・木曜日

### 2F ホールイベントのご案内

入場 / 無料(ご予約は不要です) 定員 / 120名

市民公開講座 サンモール一番町商店街振興組合の協賛で行っております。

まちなか美術講座 宮城県美術館の学芸員が美術作品の魅力についてお話しします。

市民公開講座 No.478 10月4日(金) 18:00~19:30

デザイン

### デザインとブランディング

大矢 隆一(東北工業大学 クリエイティブデザイン学科 教授)

デザインは個々の製品の見た目だけではなく、顧客が企業と接点を持つあらゆる体験においてその企業が大切にしている価値や意志を一貫したメッセージとして伝えることで、顧客の心の中にブランド価値を生み出します。本講座では、某企業におけるブランディング活動の事例を通して、今日のデザインの役割を紹介します。

### まちなか美術講座(第61回)

10月5日(土) 13:30~15:00

### ストラスブール — そのコレクションの魅力

赤間 和美(宮城県美術館 学芸員)

ドイツの国境近くフランス北東部の都市ストラスブールは、10館にも及ぶ美術館・博物館を擁し、多岐にわたる優れたコレクションを所蔵しています。この講座では、そのコレクションに注目しながら、印象派からモダンアートに至る近現代美術の流れを紹介します。



クロード・モネ「ひなげしの咲く麦畑」1890年頃  
© Musée d'Art Moderne et Contemporain de Strasbourg.  
Photo Musées de Strasbourg

市民公開講座 No.479 10月8日(火) 18:00~19:30

暮らし

### 放射性ヨウ素の体内挙動と安定ヨウ素剤投与による内部被ばく線量の低減

梅田 健太郎(東北工業大学 共通教育センター 教授)

環境中に放出された放射性ヨウ素を体内に摂取すると内部被ばくを受けます。被ばくによる健康への影響が懸念されるとき安定ヨウ素剤の投与が行われます。本講座では新しく提案されたヨウ素の体内動態モデルを用いて評価した放射性ヨウ素の体内挙動と安定ヨウ素剤を投与したときの被ばく線量低減効果についてお話しします。

市民公開講座 No.480 10月25日(金) 16:00~17:30

地域

### 川の流れと環境 ~視点を変わると見えてくるもの~

菅原 景一(東北工業大学 都市マネジメント学科 助教)

川の周辺は植物が生育し、動植物の生息の場となっている一方で、洪水が氾濫すると人々の生命や財産を脅かすこととなります。このような河川の整備の在り方について、ご来場の皆さんと対話しながら考えていきます。また、人の目では捉えにくい水の流れを捉える技術について紹介します。

市民公開講座 No.481 10月25日(金) 18:00~19:30

地域

### 地域の建築・工芸・景観を統合的にみつめる「生業景」~この地に技あり!プロジェクトをもとに~

大沼 正寛(東北工業大学 安全安心生活デザイン学科 教授)

自立的で美しい地域景観に寄与する建築をつくりたい。しかし、持続可能社会のフロンティアである農山漁村は疲弊しています。そこで、各地に息づく生業(アトリエ)に着目し、分散した営みを結びつける「コアトリエ(共創)」を形成すべく東北各地の調査を重ねてきた「この地に技あり!プロジェクト」をもとに、今後を考えます。

東北工業大学では、市民の皆さまとのふれあいの場として、一番町にロビーを開設しております。  
お気軽にお越しください。(入場無料)

東北工業大学 一番町ロビー Tel 022-723-0538

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1(TMビル) Fax 022-263-8606 E-mail/lobby@tohtech.ac.jp http://www.tohtech.ac.jp/



東北工業大学 一番町ロビー